まごころだより

２０２０年　３月号

新型コロナウイルス感染症のことでは、得体の知れないことや有効なワクチンが開発されていない事で世界中が大混乱に陥っています。報道は事実を伝えるべく毎日のように情報を流していますが、庶民は日々の感染拡大で恐怖を覚えるばかりで、安心に感じることは何ひとつなかったように思います。追い打ちをかけたのは、突然に国の代表が全国の小中高学校に、一斉休校を要請する発表がなされた事で、学校関係者ばかりか保護者にしても勤務先の会社にしても余りにも唐突な内容に更に大混乱の方向に向かっているようです。

少しづつ見えてきている統計では、高齢者や既往症のある人にリスクがあるようですが、感染路が不透明な事や治療法が確立していないところに、このような発令は益々不安になるばかりで、落ち着いて対応してほしいと言う行政の意向には説得力が疑われるところです。

政府が発令した小中高一斉休校の考えは、勿論密集状態の学校現場が感染拡大のおそれがあるからと言うことなんでしょうが、果たしてそうなんでしょうか。むしろ家庭での濃厚な接触があるわけで、そのほうが感染しやすいのではという単純ではありますがそう思うのです。ましてや若く体力が溢れている生徒たちの気持ちとして、家庭でじっとしていられるのでしょうか。

報道ではあまり触れられていない高齢者施設を利用している人に関してでは、どうしてなんだろうという疑問があります。支援や介助が必要な人には沢山の支援者が関わっています。制限が掛かればたちまち家族や訪問介護支援者の負担が重くのしかかってくるはずです。だからと言って放おっておけるわけにもいきません。こうなるともう他人事ですませられなくなります。感染拡大をさせなように、わずかであっても自分で出来ることはすると言う心がけが必要になります。

何時にこのウイルス感染症が収束するのか一番気にかかるところですが、老いも若きも他人事と思わずに予防に努めることが必要だと思います。

3月の行事の中止のお知らせ

いつもまごころの行事にご参加いただきありがとうございます。

今般、新型コロナウイルス感染症に於いて感染拡大予防のため、全国的にイベント等の自粛要請がなされた事で、当まごころに於きましても感染拡大を防止するために3月の全行事を中止したいと思います。収束はいつになるかわかりませんが、再開の見通しがたちましたら改めてお知らせいたしますので、ご理解のいただきますようよろしくお願い申し上げます。